

神奈川県ニホンジカ保護管理事業 (H15~H18)

- ・目標：生物多様性の保全と再生
シカ個体群の存続
- ・順応的管理
農林業被害の軽減
計画 事業 検証 修正
- ・エリア管理
3地域 & 56管理ユニット
- ・新たな管理オプション
植生回復のための管理捕獲、
猟区でのメスジカ狩猟解禁、
広域獣害防止柵 など

地域個体群の存続

自然植生の回復

森林整備による
生息環境整備

農林業被害軽減

自然植生回復地域
生息環境管理地域

被害防除対策地域

当面のゴール

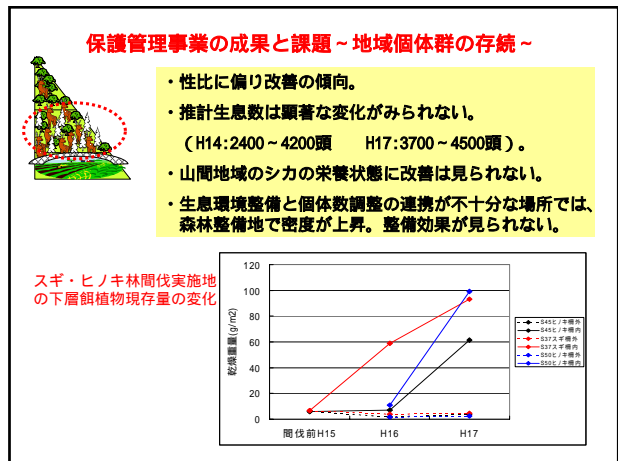
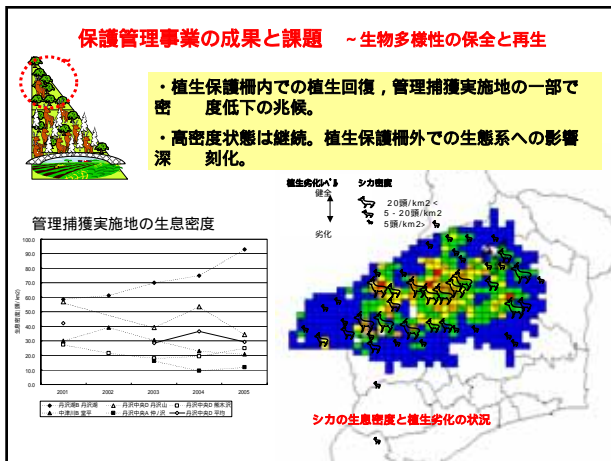
| | 個体数管理 (個体数調整の 基数は下限値) | 生息地管理 | 被害防除 |
|----------|-------------------------------|------------------------|-------|
| 自然植生回復地域 | 植生回復管理捕獲 (現状の5割、 8割を目安) | 植生保護柵の設置 (遺伝子資源の保存) | |
| 生息環境管理地域 | 猟区でのメス狩猟解禁 (被害軽減) | 森林整備による生息地改善 | 防鹿柵設置 |
| 被害防除対策地域 | メス捕獲推進 | 広域獣害防止柵設置 | |

・個体数低減
・植生回復

中標高域の
生息地確保

農林業被害の
軽減

羽山原園



神奈川県ニホンジカ保護管理計画 (H15 ~ H18)

一定の成果は得られたものの、

- ・ 生態系への影響は深刻化。
- ・ 農林業被害の恒常化。
- ・ 山間のシカ個体群の栄養状態に改善が見られない。

↓

丹沢大山保全計画の改定と共に
第2次神奈川県ニホンジカ保護管理計画(H19 ~ 23)を策定

第2次神奈川県ニホンジカ保護管理計画 (H19 ~ 23)

1. 目標

生物多様性の保全と再生、農林業被害の軽減、丹沢山地でのシカ個体群の安定的存続、分布域の拡大による被害拡大防止

2. 目標を達成するための施策(基本事項)

保護管理区域(丹沢山地)と監視区域(丹沢山地域以外)
保護管理区域に3ゾーニング&56管理ユニット

3. 地域別目標

<保護管理区域>

- ・ 自然植生回復地域: シカを低密度状態へ誘導。
- ・ 生息環境管理地域: シカの主な生息域として位置付け(生息環境整備と個体数調整を連携)
- ・ 被害防除対策地域: 農地周辺でのシカの定着解消。

<監視区域>

- ・ モニタリングにより監視。被害拡大の防止のため、有害捕獲、防護柵設置等を実施。

